

夏季期間における節電の取組みについて

当社では夏季期間において、新幹線・在来線とも通常ダイヤでの運行を確保しつつ、各地域の状況を踏まえ、駅や列車内において、これまで同様に節電の取組みを実施します。
お客様のご理解、ご協力をお願いいたします。

1. 節電目標について

近畿、中部両運輸局より、鉄道に関しては「機能維持への支障が生じない範囲で自主的に目標を設定し、節電を実施する」こと、また、目標の設定については、「昨夏の東京電力管内における制限緩和措置の考え方を参考にすること」として、節電要請がありました。
これを踏まえ、以下の削減率を目標として、節電に取り組みます。

(平成22年度ピーク比、平日)

	新幹線	在来線		オフィス等
		運転本数の多い区間	ローカル線	
中部電力	0%	5% (12~15時) 0% (他の時間帯)	0%	5% (9~20時)
関西電力	0%	—	0%	15% (9~20時)

※運転本数の多い区間 (片道1時間あたり4本以上の区間)

- ・東海道線 豊橋駅～大垣駅間及び興津駅～島田駅間
- ・中央線 名古屋駅～多治見駅間

※関西電力内の在来線：東海道線 (柏原駅～米原駅)、紀勢線 (大泊駅～新宮駅)

2. 列車運行について

列車本数や車両数は削減せず、通常ダイヤで運行します。

3. 具体的な節電の取組み

(1) 駅

きめ細かな温度調整、照明の一部減灯による節電の取組みを深度化します。

○空調設定

気温等の状況に応じて、きめ細かな温度調整を行います。

○照明

十分な明るさを確保できる場合は減灯します。

※ 駅の構造・設備等の状況により、実施しない駅があります。

○エレベーター・エスカレーター

ご高齢の方やお体の不自由な方のご利用に不便が生じないよう、全て稼働いたします。

(2) 列車内

○空調設定

気温等の状況に応じて、きめ細かく温度調整を行います。

○在来線の室内灯

日中時間帯において十分な明るさが確保できる区間では消灯します。

※トンネル区間を除く、車掌が乗務する普通列車に限ります。なお、特急等の一部列車は除きます。

(3) 省エネ車両の導入

○新幹線

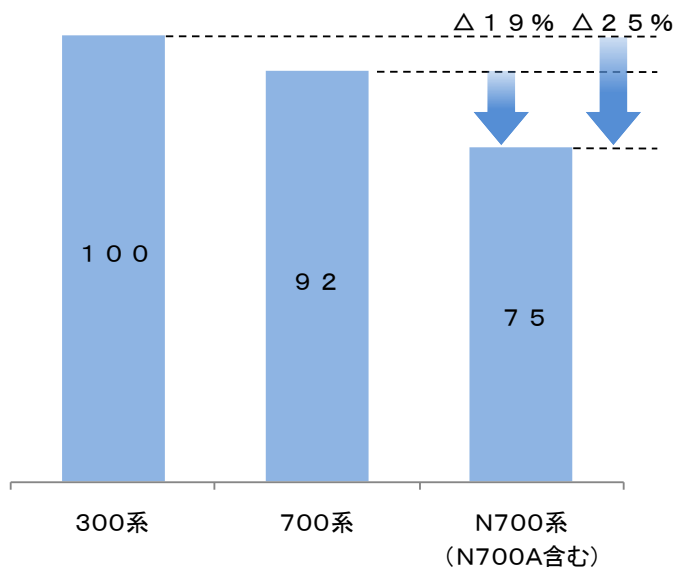
300系に比べて25%エネルギー効率のよいN700系を投入してきました。これにより、一昨年に比べ理論値で約6%の節電効果があります。さらに今年度と来年度はN700系と同じ省エネ性能を持つN700Aの投入を進めます。

○在来線

117系や119系に比べて約30%エネルギー効率のよい313系を投入してきました。これにより、一昨年に比べ理論値で約1.5%の節電効果あります。さらに今年度も313系の投入を進めます。

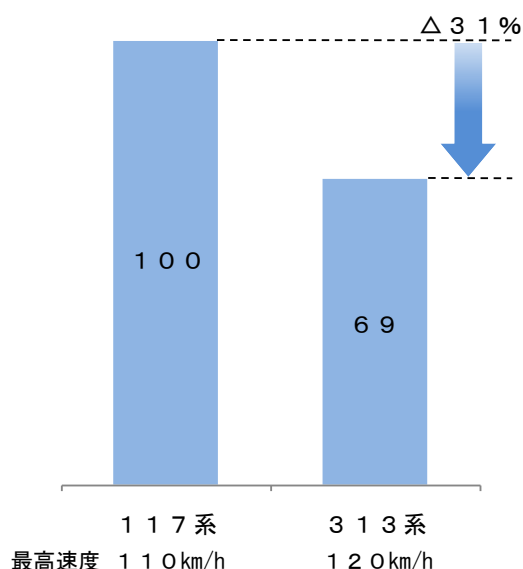
(参考)

・ 東海道新幹線の電力消費量の比較



※ 300系の消費電力量を100とした場合
※ 東京駅～新大阪駅間下りを最高速度270km/hで走行した場合のシミュレーション

・ 在来線の電力消費量の比較



※ 117系の消費電力量を100とした場合
※ 豊橋～大垣（快速運用）を走行した場合のシミュレーション

(4) オフィス等

当社および当社関係会社のオフィス・事業所においても、照明の減灯、適切な空調の温度設定、電気機器類のこまめな電源切りなど、可能な限りの節電に取り組みます。